

活動を通じ世界を理解

世界中に友だちを作り、ロータリークラブでの経験をさらに豊かにする方法の一つとして、親睦活動のグループがある。ロータリアンやその家族ならでも入ることができる。

最初にできたのはヨットの活動グループ。1937年国109のロータリ

世界中に友だちを作り、ロータリークラブでの経験をさらに豊かにする方法の一つとして、親睦活動のグループがある。ロータリアンやその家族ならでも入ることができる。

47年にボート好きのロータリアンが自分たちの船にロータリークラブの旗を掲げ、自らをロータリーの国際ヨットクラブと名乗り始めた。

このグループには、現在3300人を超えるロータリアンが参加。世界

奈良西ロータリークラブ会長
有馬 康明さん(68)

ロータリークラブ
便り

42

—ロータリーの6月は親睦活動月間—

ヨットイベントが開かれるなど、現在最も長く活動している。このほかにも、さまざまな親睦活動グループがある。スキー・マラソン、開幕・ゴルフ、カヌー、サイクリング、ワイン、クラシックカー、料理など。ワイン愛好家親睦活動グループもあり、他のグループ同様にニュースレターを配信し、メンバー同士でワインの情報交換を行っている。グループごとに奉仕活動を実践することもある。カヌーのグループは、汚染された川での清掃活動を行い、スキュー・バダイビングのグループは各旅先で地元ロータリーク

ラブによる奉仕活動に参加するなどしている。
親睦活動を通じて世界理解が深まっている。
毎月第3月曜日掲載



ゴルフの親睦活動グループの第5回内輪会の参加者=5月31日、奈良市大柳生町の奈良柳生カントリークラブ